

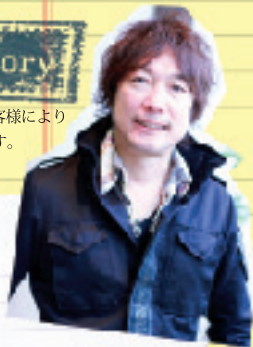
こんにちは、SARAJU代表の岩崎と申します。

いつもSARAJUを御愛顧頂きまして、誠に有難うございます。

SARAJUはお陰様で今年の10月で25年目を迎えます。

この間御来店頂いたお客様、勤務して頂いたスタッフの皆さん、その他業者様など色々な方に重ねて御礼申し上げます。これからも御来店頂いたお客様により美しく輝いて頂くお手伝いができるよう社員一丸となって一層の技術力・知識力の向上に取り組んでまいります、これからもよろしくお願ひ致します。お客様向けに定期的に(不定期かも…)発行させて頂いているこの新聞にスタッフより依頼を受けて僕のコラムを掲載させて頂くことになりました、大変嬉しく思います。そこでSARAJU Historyと題しまして創業してからの色々な出来事を皆様にお伝えできればと思っております。

## オーナーの目録 SARAJU History



SARAJUは平成元年10月に仁川駅前小さなテナントビル(今はもうありませんが…)の2階にオープンしました、10坪鏡面3つの小さなサロン…

スタッフは僕と家内の2人でのスタートでした。若かった僕たちには貯えなど一切なく全額借金で始めたお店、オープンしてもほんとうにやっていけるのだろうか…。

とにかく必死でした。オープン2週間前から家内と二人で近隣のお宅にご来店のお願ひの挨拶に訪問させて頂いたのですが約2,000件のお宅に訪問したことを覚えています。それが功を奏したかお陰様でオープンしてからはたくさんのお客様にご来店頂き順調なスタートが切ることができました。なにしろ2人でやっているものですから3人目の方はちょっと待って頂く、4人目の方はだいぶ待って頂く感じでしたが若い夫婦が一生懸命やっている事に共感して頂けたのかそれでもずっと待って頂けるお客様も多く本当に感謝の気持ちで一杯でした。

そしてオープンして1年が過ぎたころ、2人では対応できないくらいのお客様にお越し頂けるようになりいよいよスタッフを採用しようということで生まれて初めて人を雇う事になるわけですがここからが苦勞の始まりです。

スタッフを入れたくともそう簡単に夫婦2人きりでやっている美容室にどしどし応募があるわけもなく求人雑誌への掲載料がかさむばかりでした。そうこうしてやっと応募してきた女の子、でもお世辞にも人当たりがいいとは言えないし笑顔もないし仕事もさほど出来ないし、でも人手は足りないし求人費はこれ以上使えないし…そうして渋々採用する事にしたのです。ここからが大変、営業中全然気が利かないし動かないしちょっと注意したらスネル彼女、考えられないかもしれませんが営業が始まったらまず働きだすのは僕と家内、彼女は壁にもたれるような姿勢でじっとして店が忙しくなってきたらやっと動き出すという始末、それでも辞められたら困るし僕はどうかしたらお客様への気遣い以上にはれものにさわるように彼女に気を遣って毎日働いていたのかも…

そしてある日我慢に我慢を重ねてきた僕でしたがとうとう堪忍袋の緒が切れて激しく彼女を叱りつけてしまったのです。そうするとなんの事はない、次の日にぶいっとあっさり辞めてしまったのでした。あ〜 人を雇うってこんなにしんどい事やったんや〜(>\_<) 続く…